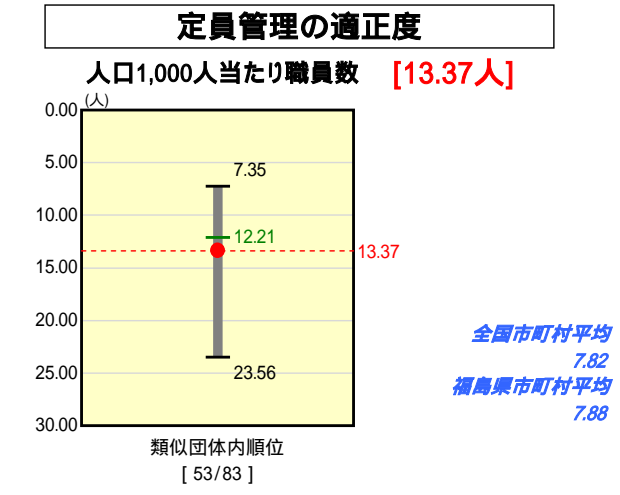
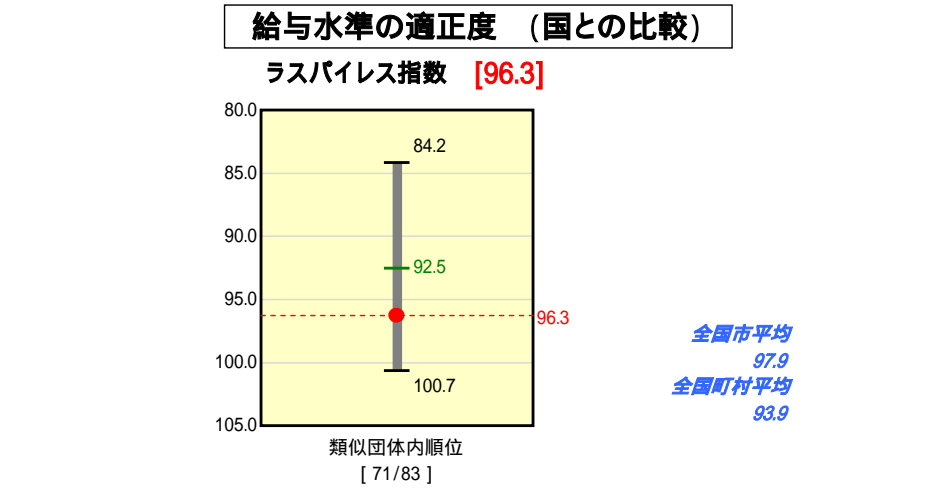
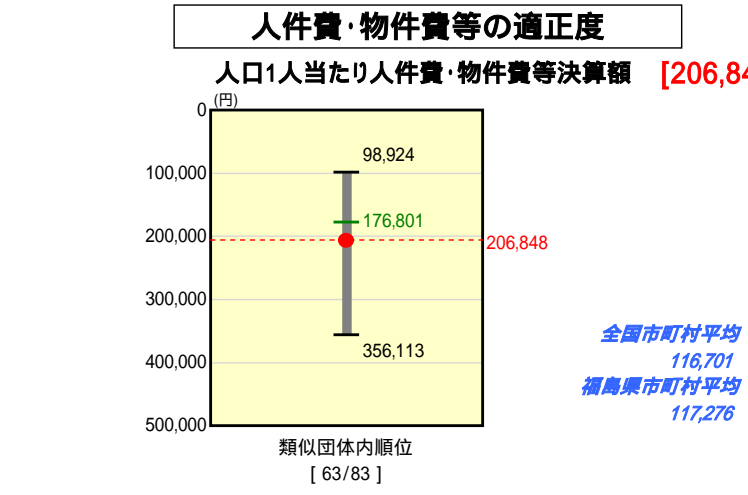
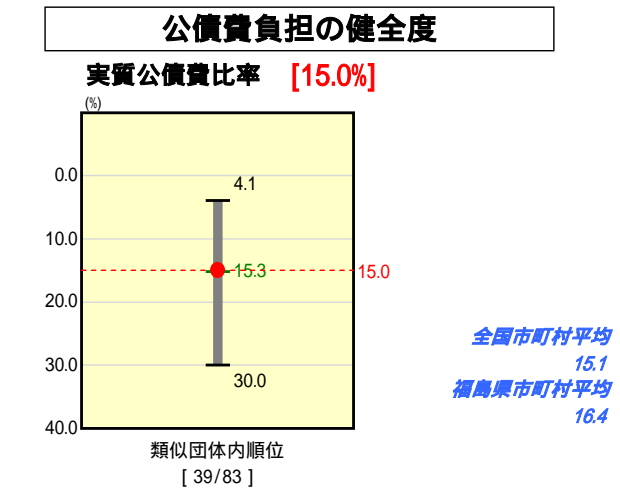
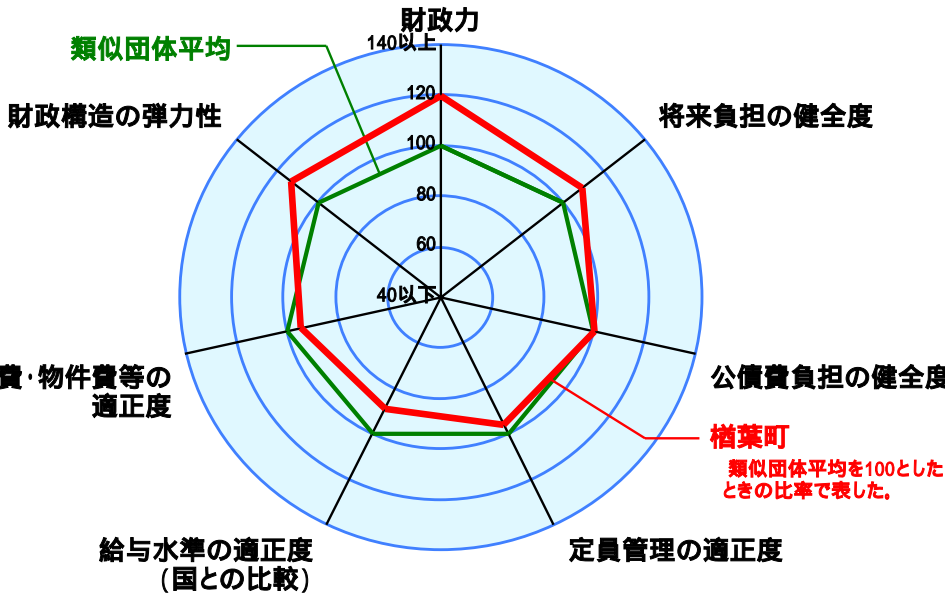
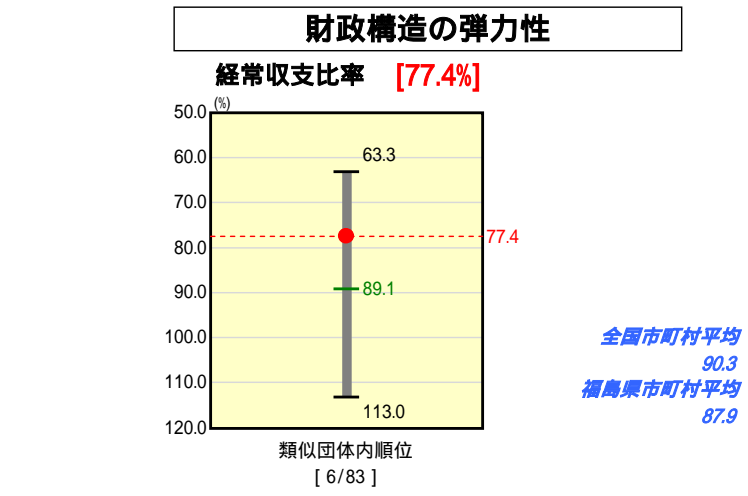
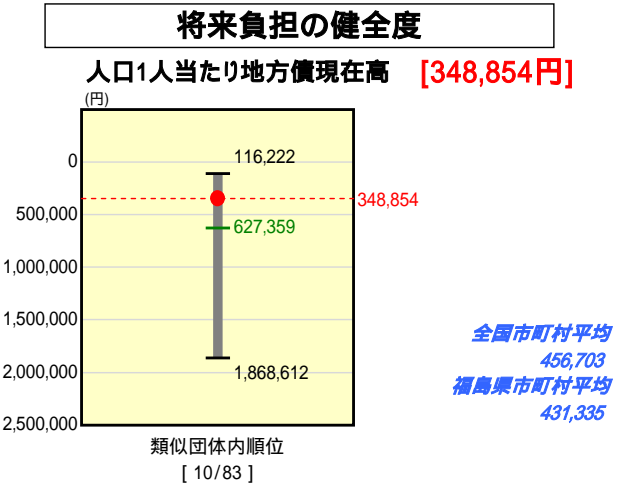
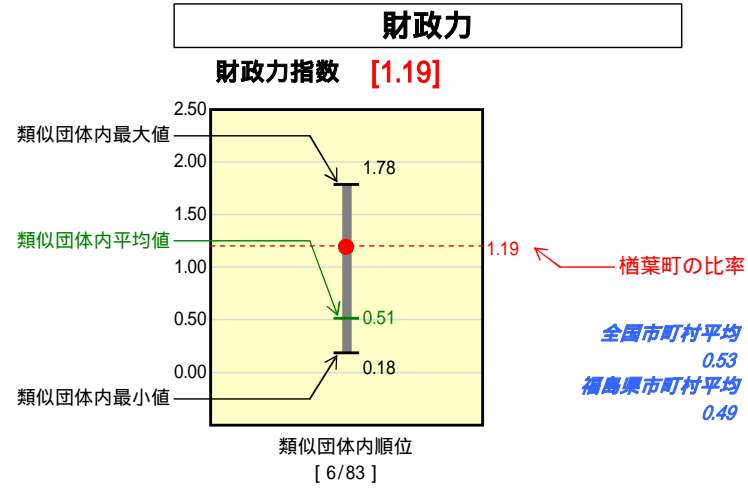


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福島県 楡葉町

人口	8,304人	(H19.3.31現在)
面積	103.45	km ²
歳入総額	6,022,462	千円
歳出総額	5,711,227	千円
実質収支	273,745	千円



分析欄

財政力指数
大規模事業所(原子力発電所)の立地により類似団体平均を大きく上回る税収があることから、1.19となっているが、町税のうち大規模償却資産に係る固定資産税が毎年減収となっていることや、これまでに整備した公共施設等維持管理経費が財政を圧迫している状況にある。今後は、楡葉町集中改革プランに沿った町税の徴収率向上(毎年度95%以上)による歳入の確保と事務事業の見直しによる歳出削減に努める。

経常収支比率
全国及び県内市町村平均を下回っており、対前年度比率も3.8ポイント低下した。これは前年度において双葉地方水道企業団への出資財源として一般会計出資債を起債したものを臨時財政対策債に切り替えたことにより、比率算出上、臨時財政対策債が経常一般財源に含まれるため低下したものである。しかし、臨時財政対策債及び減税補てん債を控除した比率については、81.5%と前年度と同率であり、町税など経常一般財源が減少傾向にあるなか、住民サービスを低下させることなく経常経費の削減が図られているものと推測される。今後は、行財政改革の計画的な取り組みにより義務的経費の抑制を図り、80%以下の水準を維持していくよう努める。

実質公債費比率
町債の借入を計画的に削減していることから公債費が徐々に減少しつつあり、当年度は0.9ポイント低下し15.0%となり、全国及び県内市町村平均を下回った。しかし、今後は町税など経常一般財源が減少すると考えられ、更に町勢振興計画に基づく教育施設の改修が予定されているが、事業計画の整理・縮小を図るなど、起債依存型の事業実施を見直し、実質公債費の上昇を抑制していく。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を下回っている。今後、大規模投資事業(中学校改修事業)も予定されていることから新規地方債発行が見込まれるが、現水準の維持に努める。

ラスパイレス指数
給与体系の見直し(H19年度実施)が遅れ、類似団体平均を3.8上回り、全国町村平均をも2.4上回っている。また、全国的にも高い水準にあるため、地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、給与の適正化に努めることにより、楡葉町集中改革プラン最終年度(平成21年度)までに類似団体平均の水準である92.5を目標として低下させる。

人口1,000人当たり職員数
本町特有の地理的条件による公共施設の点在が、類似団体と比較し1.16人上回っている大きな要因であると考えられる。現在、幼稚園・保育所の統合(4ヶ所から1箇所へ減)や退職者不補充など定員の見直し(5年間で6人削減)を実施しており、より適正な定員管理を行い、簡素で効率的な行財政運営に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
本町特有の地理的条件による公共施設の点在(幼稚園・保育所各2箇所)が、類似団体と比較し施設維持管理に係る人件費及び物件費が平均を上回っている要因となっている。今後は、施設の統合による経費の削減や、施設の維持補修費の平準化を図りコストの低減を図る。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。